

平成30年5月21日（月）に、鳥類及び底生動物等の貴重な生息の場（鳥獣保護区）となっている七北田川河口の蒲生干潟において、宮城県環境アドバイザーによる現地検討会を開催しました。

七北田川災害復旧工事における環境配慮の取組・干潟の水交換について、説明・報告し、アドバイザーから指導・助言をいただきました。

検討会の様子

アドバイザーからの主な意見



○干潟の水交換について

- ・仮通水路の設置により、干潟の水交換が良くなっている。継続して状況を確認すること。
- ・干潮時に干潟の奥側と手前側の水の流れが分断されているため、干潮時に滯筋が残るよう滯筋を掘削していただきたい。

○干潟中央部の湿地帯への通水について

- ・旧堤防に隣接する湿地帯は以前、動植物にとって良好な環境であった。現在は、砂が堆積し満潮時でも水が流れ込まない状況にある。以前の環境に戻るよう、滯筋を掘削していただきたい。

⇒滯筋2箇所の掘削を実施。現在の水交換状況は良好。



※アドバイザーより、いただいた意見（指導・助言）を踏まえ引き続き環境に配慮した施行を実施していきます。